



令和3年度食のみやことっとり
キラリと光る食育推進活動

知事表彰



第10回
表彰事例集

とっとりの食育

県内では、数多くの団体が様々な視点で食育活動に自主的に取り組んでいます。地域の特性を活かし意欲的に取り組まれている活動を表彰しましたので紹介します。



鳥取福祉社会保育部給食部会



森のようちえん キンダガーデン

鳥取県のこれからの食育で 大切にしたい2つの基本指針

豊かな人間性を育む食育～「栽培・料理・共食」の実践～

私たちは毎日食事をして生活していますが、その食事は、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育てていく基礎となります。

五感すべてを使う栽培、収穫、料理などの体験を通じて、自分の手で成し遂げる喜びを積み重ねることで「生きる力」の基礎を育み、食べることは命を受け継ぐことであることを実感し、「食」や「食」を支える全ての人、自然の恩恵に対する感謝の心を養うことができます。

食のみやこである鳥取県の特性を生かした食育

鳥取県は、都市部に比べて農林水産業の現場と消費者との距離が近く、食を身近に感じることができるという利点があります。

四季折々の気候風土に恵まれた県内各地で米・野菜・果物などがバランスよく生産され、水産業では境港が全国でも有数の漁業基地として知られているなど、食を学び体験する環境に恵まれています。

絵本のごちそうの日

鳥取福祉保育部給食部会

活動の概要

大好きな絵本の中に登場するごちそうが目の前に現れる、子どもたちのワクワクする活動。時には子どもたちと一緒に作り、美味しそうな匂い、焼けていく色や音の変化、触れたときの温度や食した味わい、といった五感いっぱいにごちそうを感じながら想像力を膨らませることができる活動。絵本で見たり聞いたりしたことを自分の経験と結びつけ想像することは、子どもたちにとってとても楽しく、豊かな感性や学ぶ力の基礎を育くむものとなる。いつもの給食にアイデアと工夫をふりかけ、「絵本に登場する美味しそうな料理を食べてみたい!」そんな子どもたちの願いを叶えてくれる、体も心も豊かに育む『絵本のごちそうの日』に取り組んでいる。



工夫したこと

事前に子どもたちに絵本を読み聞かせ楽しみな気持ちを膨らませたり、子どもたちと一緒にクッキングしたりして目の前で出来上がる様子を伝えた。

また、毎月保護者に配布する献立表で紹介し玄関掲示をすることにより、「今月の絵本はなんだろう、どんなごちそうかな」と保護者にも楽しみにしてもらっている。



活動の成果

「しろくまちゃんのホットケーキ」では、目の前でホットケーキを焼くと、絵本と同じように「ぷつぷつ」「ふくふく」するのを見て、子どもたちは「しろくまちゃんといっしょだ〜」、「いい匂いがしてきた〜」と大興奮。保育園での様子を玄関モニター等で流して保護者へも発信することで、「お家から子どもと一緒に作ってみた」、「子どもが早く作ろうと楽しみにしていた」という声が聞かれる。



- ・絵本の世界と食とをうまく結びつけたアイデアがユニークで独自性があり、子どもたちにも印象に残りとてもよい活動。
- ・給食の一環として無理のない範囲で、かつ月1回の継続的な取組であり、負担が比較的少なく他施設への展開も期待できる。

〈団体の概要〉 所在地／鳥取県鳥取市の場2丁目1番地 連絡先／0857-51-7272

食べる事は原動力 すべての食材と出会いに感謝して

森のようちえん キンダガーデン



活動の概要

12年前から、子どもたちが毎月1回の給食作りにチャレンジしている。「食」を通じて食べる楽しさや作る喜びを感じながら、一緒に食を囲む仲間との関りを深めることも目的として活動を行っている。活動の中心は子どもたちですが、サポートとして保護者の方の協力も得ながら、楽しく活動しています。近年は、祖父母の協力で地域の食材や季節食にも取り組んでいます。園菜園なども積極的に行い、食を通じた活動をさらに広げています。



工夫したこと

主役は子どもたち。自分のやりたい活動に積極的に取り組める環境を作っている。年長児が主となり、年中児は副菜やおやつ作り。憧れや期待感を成長と共に感じられるように、2歳児、年少児が見える場所で調理する環境を作った。

また、保護者の方にも協力してもらうことで、園内にとどまらず家庭でも「食」に関わる活動に取り組める環境作りを心掛けた。



活動の成果

～保護者さんからのひとこと～

共に学び、共に体験し、共に食す。笑顔あふれる時間と食事の楽しさ、喜びを学ばせてもらいました。子どもだけではなく、保護者にとっても財産になる時間でした。(小林 秀治さん)

笹とりから一連の活動を、子どもたちが主となって、保護者と一緒に行った。蒸しあがったちまきは、美味しさ倍増、達成感いっぱい、嬉しそうな表情であふれていました。「ちいこばあちゃん」と親しみを持って呼ばれ、来年も郷土の味を伝えていきたい。(山崎 千井子さん)



- ・食材を育てるところから自分たちで調理して食へるところまでトータルで取り組んでおり、食育の王道的な取組。
- ・毎月1回12年間、継続している。
- ・祖父母や地域の人との連携もあり、子どもたちの心の成長にも寄与している。

食を通じて健やかに「生きる力」を育むために

食のみやことっとり～食育プラン～(第3次)より

鳥取県では、「『栽培・料理・共食』を実践し、食を通じて『生きる力』を育み、心身ともに充実した生活を実現すること」を県民の目指す姿とし、食育を推進していくこととしています。

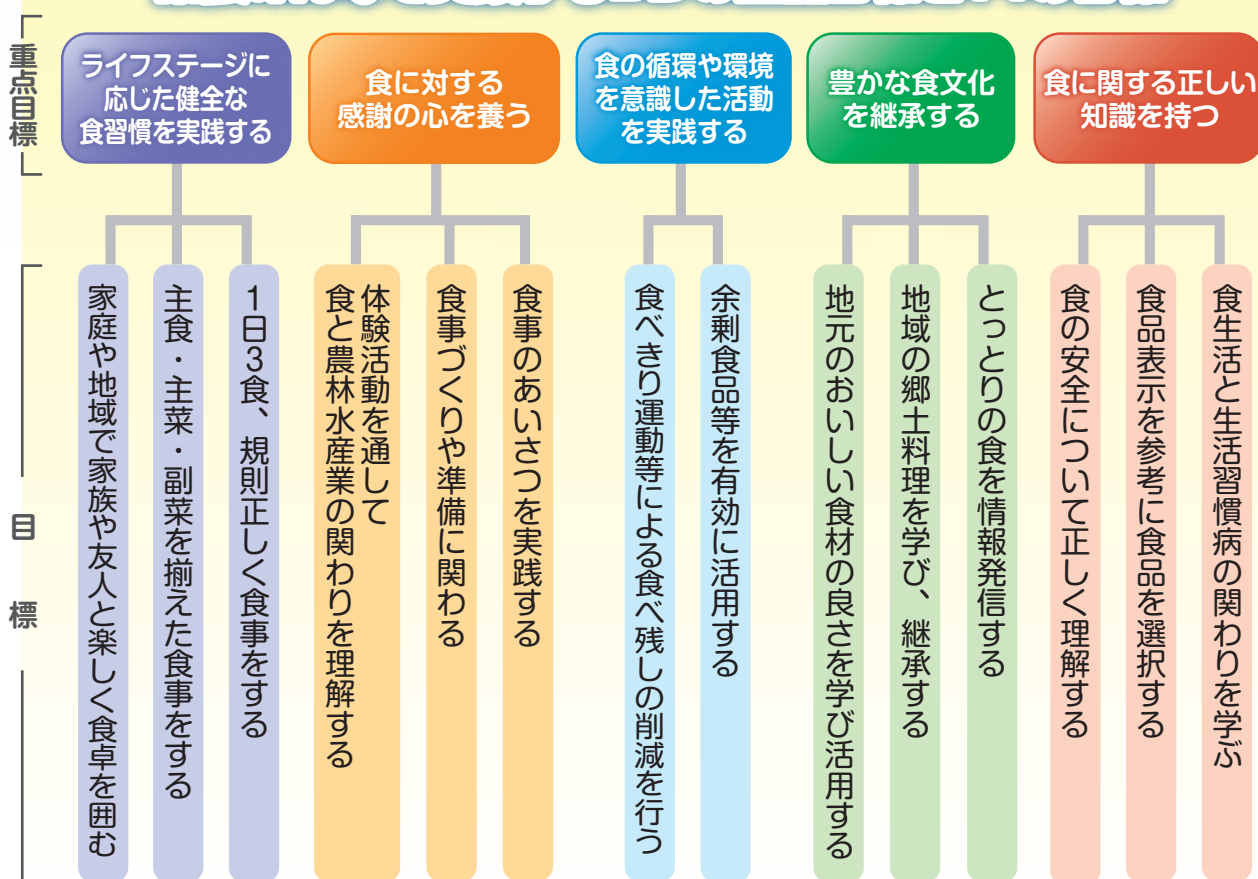
食育を総合的かつ計画的に推進するため、県の関係組織が連携・協力しながら取り組むとともに、家庭(県民)、保育所・幼稚園、学校、生産者団体、食品事業者、地域の団体、市町村等、関係機関とともに鳥取県のこれからの食育を推進していきます。

食を通じて健やかに「生きる力」を育み、心身ともに充実した生活を実現する

基本方針

- 豊かな人間性を育む食育～「栽培・料理・共食」の実践～
- 食のみやこである鳥取県の特性を活かした食育

県民みんなで実践する5つの重点目標と14の目標



鳥取県食育推進活動知事表彰について

<https://www.pref.tottori.lg.jp/202828.htm>

鳥取県食育推進計画について

<https://www.pref.tottori.lg.jp/82928.htm>

発行

鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課
TEL/0857-26-7202

